

○学習指導要領では、国語科の指導の改善・充実を図る観点から、〔思考力、判断力、表現力等〕の「A 話すこと・聞くこと」、「B 書くこと」、「C 読むこと」の各領域において、学習過程を一層明確にし、各指導事項を位置付けた。I C Tの効果的な活用についても、この学習過程を踏まえて、活用場面を考えることができる。  
文部科学省 国語科の指導におけるICTの活用について より

### 学習過程を踏まえた I C T の活用場面（例）

学習の見直しを持ちたり、学習した内容を蓄積したりする



・モデルとなるスピーチの動画を視聴し、学習の見直しを持つ。

情報を収集して整理する



・インターネットを活用して学習課題に関連する情報を調べ、集めた情報を内容に応じて整理する。

知識・技能の習得を図る



・古文や漢文等の教材となる動画を視聴して、言葉の響きやリズムに親しむ。

自分の考えを深める



・自分で考えたことを画面上の付箋に書き出し、目的や意図に応じて分類する。

考えたことを表現・共有する

・デジタルカメラやカメラ付端末を活用し、スピーチや話合いの様子を録画・再生して自分の話し方を確認したり助言し合ったりする。

### 子供の言葉が広がるチャンス！（例）

- ・辞書機能を使って新しく出会った言葉を検索したり、学習した文学的文章と同じ作者の本を検索したり、表現したい言葉が見つからない際に類語を検索したりできる。（一人一台端末により、誰もが使いたい時に電子辞書等を使うことができる）
- ・調べた言葉や見つけた言葉を自分だけの「M Y 言葉辞典」として蓄積することで、目的や相手に応じたよりよい言葉を選び、表現に生かすことができる。
- ・音声認識機能、読み上げ機能等を活用することで、一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導や支援ができる。



文部科学省  
 国語科の指導  
 におけるICTの  
 活用について

## 「書くこと」における学習過程「推敲」での活用例

(例) 第5学年  
相手や目的を明確にして、おすすめの本を紹介する

② 1年生が読むから「虫の知識」じゃなくて、もっと分かりやすい言葉の方がいいんじゃないかな？

④ 前よりも分かりやすい言葉になったね。1年生によく伝わると思うよ。

⑤ ありがとう。他にも分かりにくい言葉がないか考えてみよう。

オ 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。

① 紹介カードができたんだけど、どうかな。

③ なるほど。1年生にも分かる言葉だね。前に1年生向けに作ったパンフレットを見てみよう。  
(これまでのワークシート等、蓄積されたデータから検索)  
そうだ！「虫のひみつ」はどう？

Point

- ・前時までの学びを蓄積し、いつでも振り返ることができる。
- ・辞書機能を使って、全員が同時に調べたり、読んだりできる。  
(準備にも、時間や場所をとらず、持ち運びも簡単にできる)

言葉による見方・考え方を働かせながら、より深い学びへ